

「集団的自衛権と憲法」

9.23 森英樹講演会in岐阜

改憲問題の現在と 安倍政権に対する 世界(ドイツ)の見方

2014年7月1日安倍自公政権は、閣議決定による解釈改憲を強行し、集団的自衛権行使に動き出しました。自公政府は、お手盛りの決定で自衛隊の海外での武力行使を進めています。秋の臨時国会では国家安全保障基本法案など集団的自衛権による戦争法制化に着手しようとしています。さらに、自衛隊法、周辺事態法、PKO法等関連法の改憲を狙っています。

安倍首相は、「国民のいのちとくらしを守るため」「他国の戦争に巻き込まれるようなことはない」と言い続けてきました。しかし、国民は安倍首相の言動に疑問を持ち始め、安倍内閣支持率が急落しています。いまこそ憲法問題の学習を深め、安倍政権打倒の声を上げようではありませんか。

ドイツ滞在から帰国したばかりの森英樹先生に「改憲問題の現在と安倍政権に対する世界の見方」について講演依頼をしました。岐阜では、数年ぶりの森英樹講演です。多数のご参加を期待しております。

森 英樹

(名古屋大学名誉教授・憲法学)

2014年9月23日(火・祝)

14:00~16:00

ところ 長良川スポーツプラザ2Fホール

岐阜市長良福光青鞞2070-7(058-295-6300)